４　大阪市の「学校配置の適正化」の考え方

　子どもたちの教育環境をより良いものとし、「生きる力」を育むことができる学校教育を保障する観点からも、学校配置の適正化は必要と考えています。
　令和２年４月１日から改正施行した大阪市学校活性化条例等において、次のように学校配置の適正化を進めることとしています。

- 小学校の適正規模は１２学級から２４学級までとし、これを下回る小学校（※１）について「学校再編整備計画」を策定する。
- 学校再編整備計画には、計画の実施時期、学校の場所等を記載する。
- 策定した学校再編整備計画は公表し、保護者等から意見聴取を行う。
- 学校再編整備計画を変更したときは、改めて公表、意見聴取を行う。

※1 適正配置対象校の区分

① 複式学級を有する学校・・・九条東小学校

② ①の小学校を除き、児童数が120名を下回り、今後とも児童数が120名以上に増加する見込みがない学校

③ 児童数が120名以上であるが、今後児童数が120名を下回ることが見込まれる学校

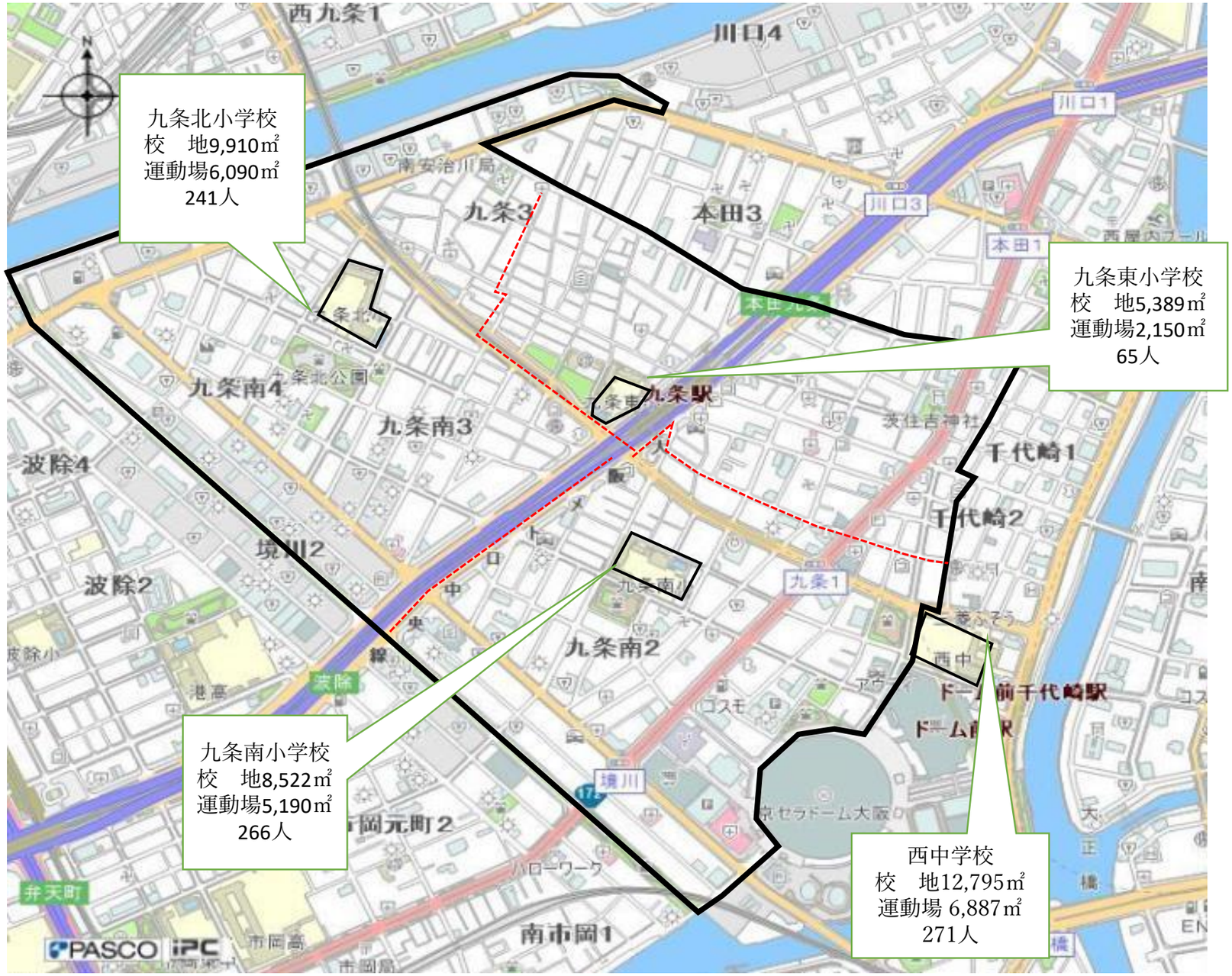
④ ①～③の小学校を除き、すべての学年において単学級であり、今後ともすべての学年において単学級であることが見込まれる学校

⑤ 現在7学級以上11学級以下であるが、今後すべての学年において単学級であることが見込まれる学校・・九条南小学校

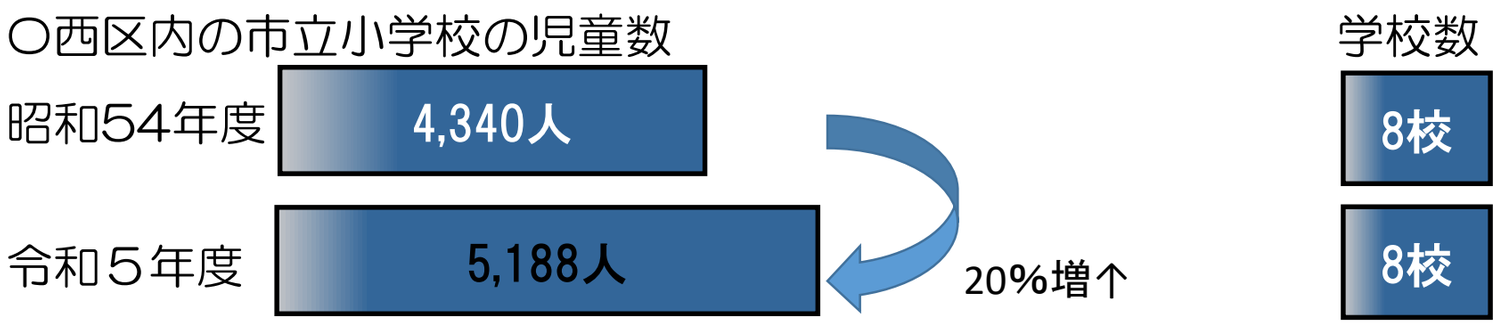
⑥ 今後7学級以上11学級以下であることが見込まれる学校・・九条北小学校

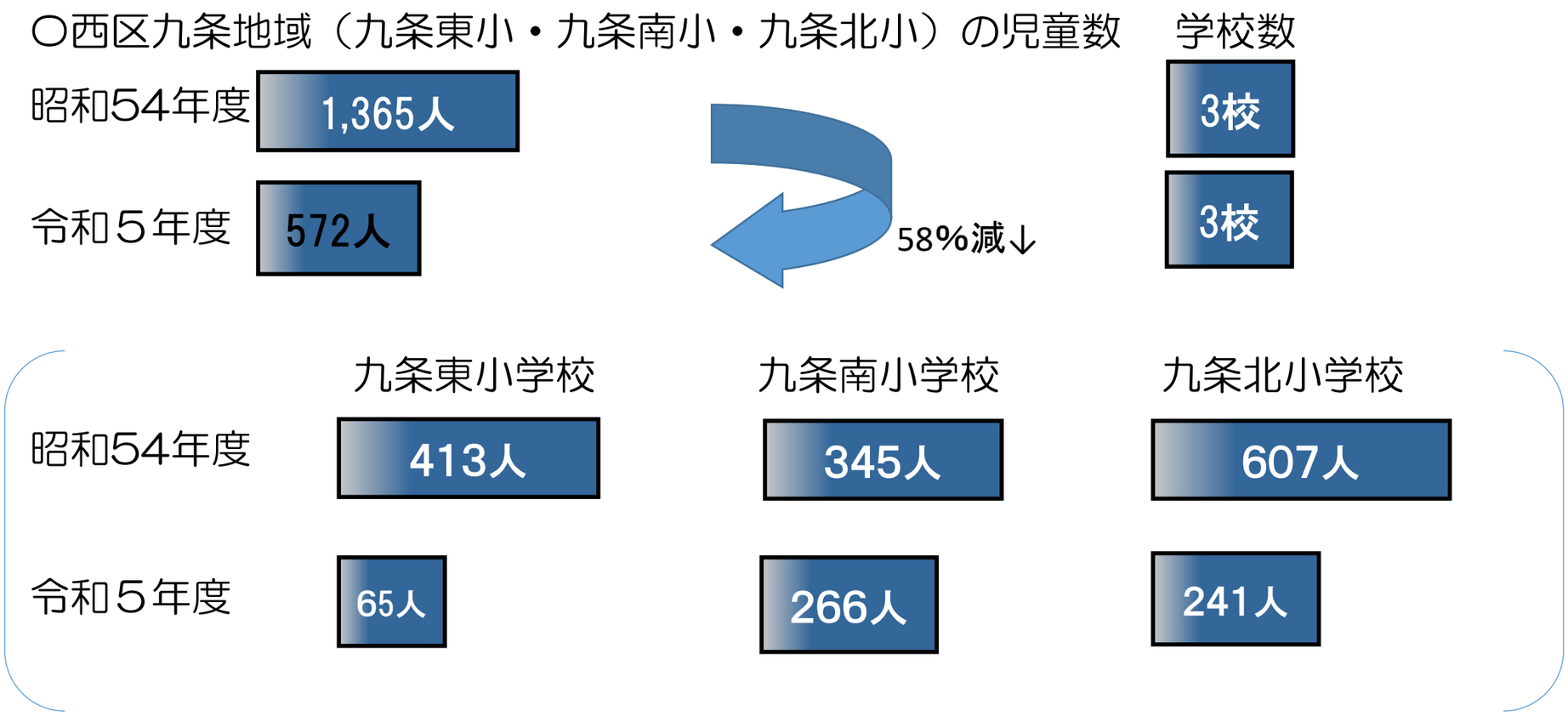
５　西区九条地域における現状及び児童数の推計について

（1）西区九条地域における小学校の配置状況

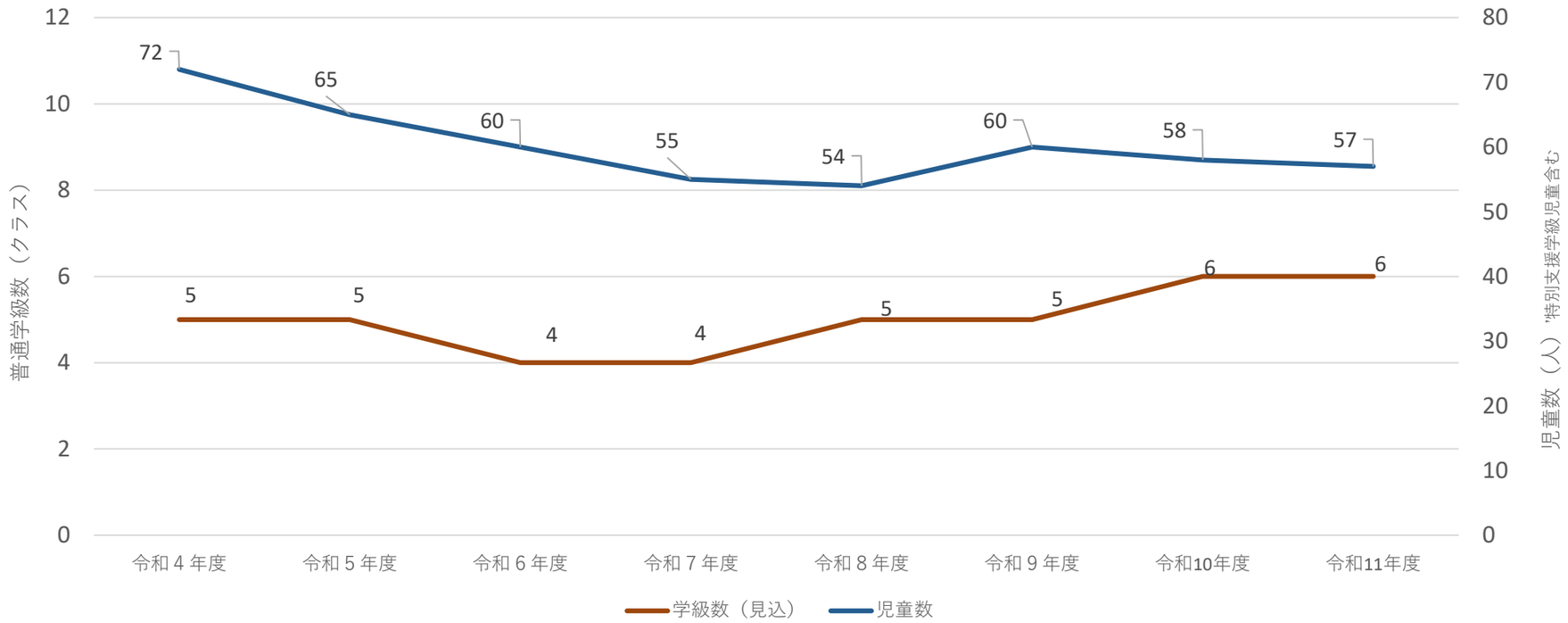


（2）西区における小学校の現状





（3）九条東小学校の児童数の推移



・令和6年度以降、複式学級（※）が2つ発生し、令和10年度以降も発生する見込み（下記参照）

※複式学級とは

2の学年の普通学級在籍児童数の合計が16人以下（1年生を含む場合は8人以下）の場合、2の学年を1クラスとする。
上記推移の学年ごとの内訳は次のとおりであり、令和10年度以降も複式学級が発生すると見込んでいます。

年度	１年生	２年生	３年生	４年生	５年生	６年生	児童数	学級数 *(見込)*
令和４年度	7	**4(1)**	**8(2)**	14(3)	10(5)	13(5)	56(16)	5
令和５年度	7(2)	**9(0)**	**3(1)**	**8(2)**	14(3)	11(5)	52(13)	5
令和６年度	*11*	**7(2)**	**9(0)**	**3(1)**	**8(2)**	14(3)	52(8)	4
令和７年度	*12*	11	**7(2)**	**9(0)**	**3(1)**	**8(2)**	50(5)	4
令和８年度	*9*	*12*	*11*	7(2)	**9(0)**	**3(1)**	51(3)	5
令和９年度	*10*	*9*	*12*	*11*	**7(2)**	**9(0)**	58(2)	5
令和10年度	*7*	*10*	*9*	*12*	*11*	7(2)	56(2)	6
令和11年度	*8*	*7*	*10*	*9*	*12*	11	57	6

※（　）は特別支援学級児童で外数。網掛けは複式学級（通常学級児童数が隣接2学年で16人以下）

※令和6年度以降の新1年生数＝「住民基本台帳数」×「５歳児の過去10年間の居住数の平均増減率(45%)」

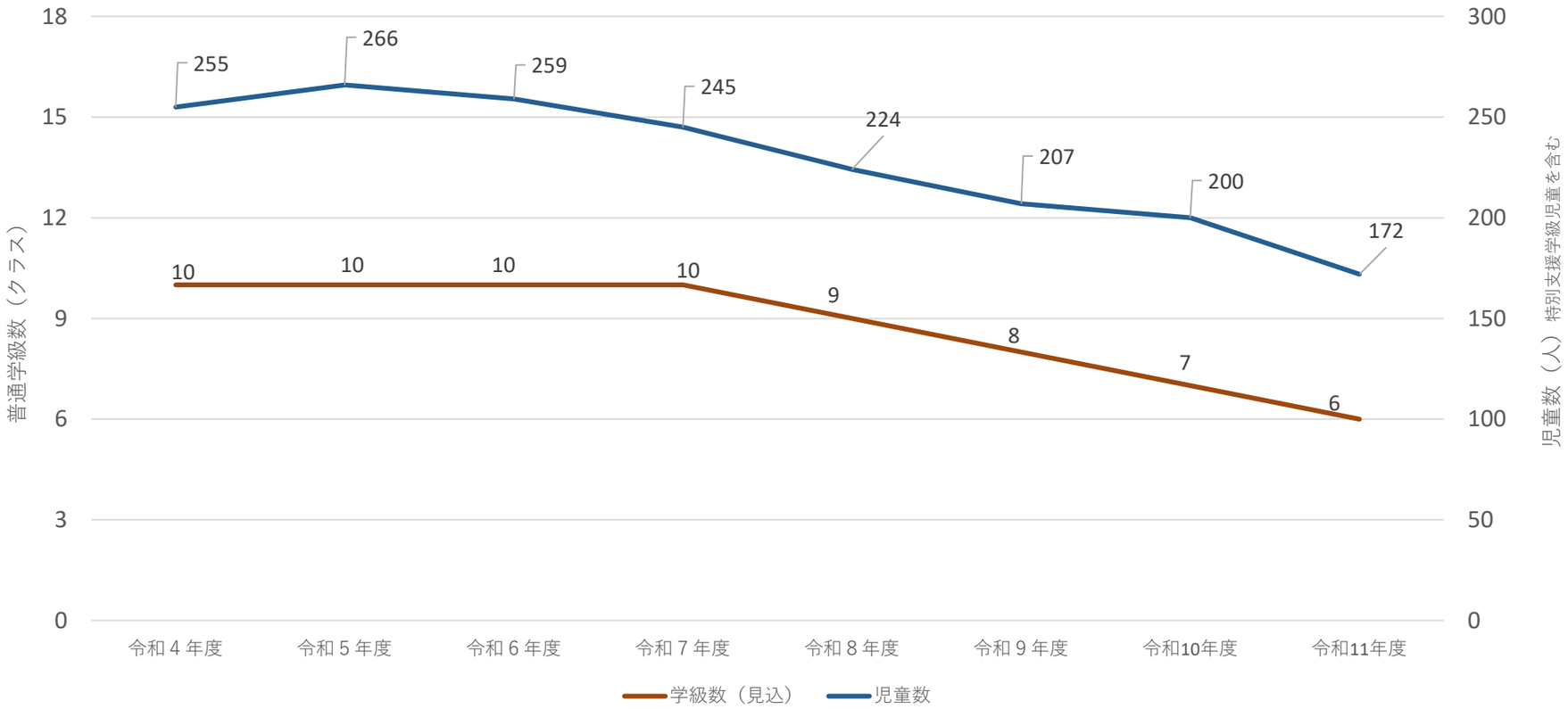
<u>※近年の新1年生の数は過去10年間平均よりも低く、令和6年度以降の新1年生数には特別支援学級児童数の予測までは見込んでいないため、網掛け以外にも複式学級の可能性有</u>

※調整区域除く

新1年生入学者数推移・見込

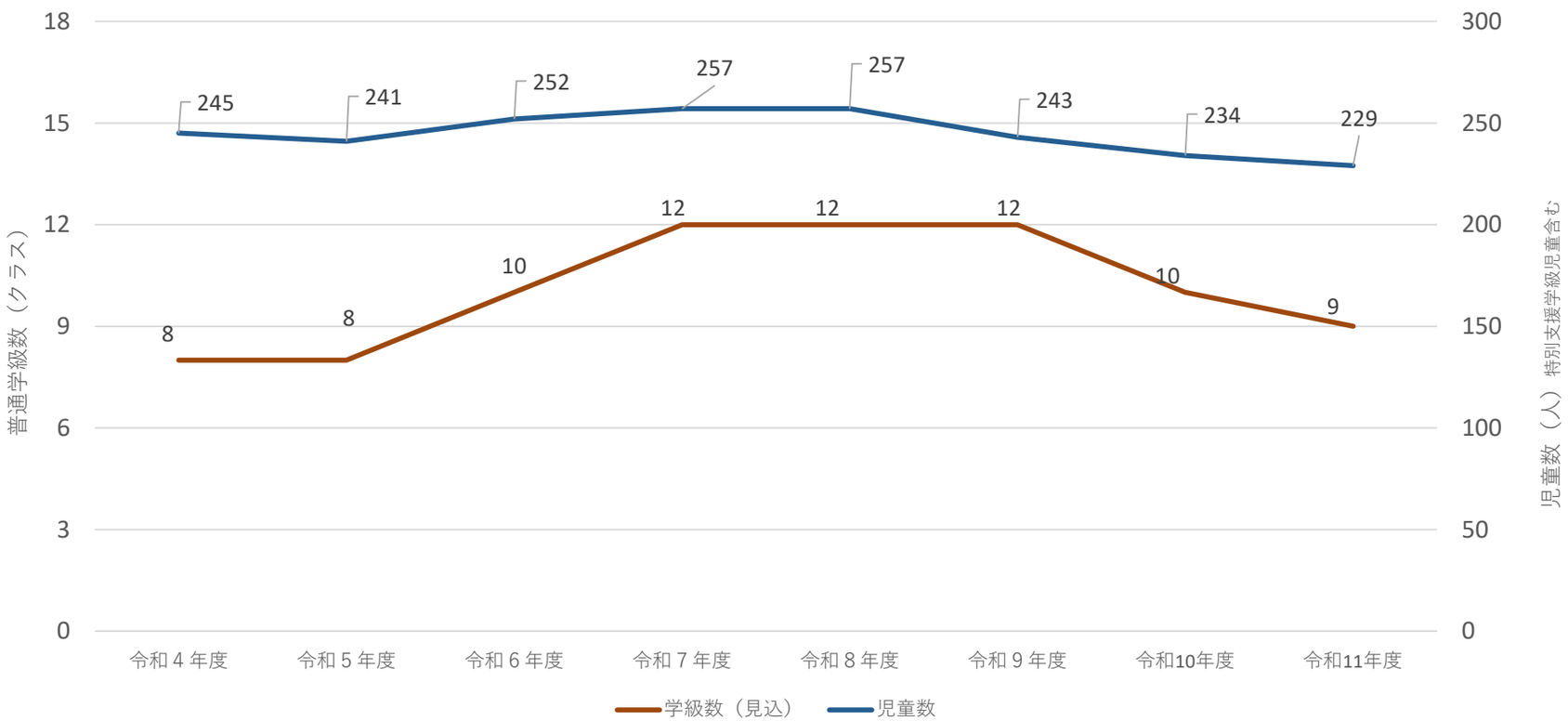
	住民基本台帳数	入学者数	入学率
平成30年度入学生（現6年生）	20人	14人	70%
平成31年度入学生（現5年生）	27人	17人	63%
令和2年度入学生（現4年生）	28人	12人	43%
令和3年度入学生（現3年生）	21人	4人	19%
令和4年度入学生（現2年生）	25人	7人	28%
令和5年度入学生（現1年生）	32人	9人	28%
令和6年度入学生（5歳児）	*24人*	*11人*	過去10年平均45%で算出
令和7年度入学生（4歳児）	*27人*	*12人*	
令和8年度入学生（3歳児）	*21人*	*9人*	
令和9年度入学生（2歳児）	*23人*	*10人*	
令和10年度入学生（1歳児）	*16人*	*7人*	
令和11年度入学生（0歳児）	*17人*	*8人*	

（4）九条南小学校の児童数の推移



・将来的に学級数は減少し、12学級を上回らない見込み

（5）九条北小学校の児童数の推移



・一時的に増加するが将来的に学級数が減少し、12学級を上回らない見込み